

研究開発DXゾーン：出展案内

開催のご案内 および 研究開発DX領域へのご出展案内

名称 nano tech 2024 第23回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議

主催 nano tech実行委員会
 (委員長 川合 知二：
 大阪大学 産業科学研究所 招聘教授 / 東京都市大学 特別教授
 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 技術戦略研究センター フェロー /
 国立研究開発法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター 特任フェロー)
 株式会社JTBコミュニケーションデザイン

会期 / 会場 2024年1月31日(水)～2月2日(金) @東京ビッグサイト 東ホール

出展対象

材料・素材：ナノマテリアルゾーン

ナノ粒子、複合材料、ナノセルロース、カーボンナノチューブ、ナノファイバー、ナノコーティング、ナノコンポジット材料、グラフェン、ナノインク、生体適合性材料、フォトニクス材料、フラレン、ナノコロイド、高性能磁性材料、超高強度材料、セルロースナノファイバー(CNF)、セルロースナノクリスタル(CNC)、セルロースフィラメント、バクテリアセルロース(BC)、マイクロファイブリル化セルロース(MFC)、セルロースフィブリル、ナノセルロース複合材料、その他ナノセルロース材料、セラミックス、電導材料、ナノ複合材料応用技術

加工：ナノファブ리케이션ゾーン

薄層製造技術、ナノインプリント、超精密表面加工技術、レーザー加工、インクジェット、混合・攪拌・分散・粉砕技術、微細バターン印刷技術、エッチング、次世代ソリッドファイバー、電子・イオンビーム加工、受託加工サービス、微細トランジスタ技術、微小放電加工、フュージョン・ボンディング技術、乳化、接着・接合技術、微小放電加工、微細トランジスタ技術、セルロースナノファイバー加工

分析・計測・評価：ナノアナリティクスゾーン

電子顕微鏡 (SEM,TEM)、分析装置、評価・計測設計ツール、超精密測定機器、高機能・高感度センサー、受託評価・計測・分析サービス、分子イメージング、シミュレーション・分子設計ソフトウェア、近接場光、ピエゾステータス、SPM・AFM、マイクロTAS、マテリアルズインフォマティクス、シミュレーション・分子設計ソフトウェア、粒径・分布計測、オペランド計測、クライオ顕微鏡、研究開発支援ツール、三次元計測、X線CT、その他ナノ解析、高時間分解計測

応用：ナノイノベーションゾーン

●ベンチャー企業 ●モビリティ ●二次電池 ●燃料電池 ●太陽電池 ●次世代センサー ●次世代半導体 ●人工知能・ディープラーニング ●MEMS/マイクロマシン ●軽量化材料 ●化粧品材料 ●再生医療 ●ウェアラブルデバイス ●航空・宇宙 ●農業 ●バイオミメティクス ●換気セラミックコンデンサ ●ノイズ除去 ●フレキシブル基盤 ●サーマルマネジメント技術 ●全固体電池 ●リチウムイオン電池 ●次世代電池

独法・公的機関・アカデミア

アカデミア (大学・研究室・産学連携) 国プロ、ナショナルパビリオン、学会・組合組織、公的機関、TLO、自治体、商工会、中小企業支援団体、国際団体・組織

名称 新機能性材料展2024

主催 株式会社 加工技術研究会 (代表取締役社長 荒木茂雄)
 株式会社JTBコミュニケーションデザイン

会期 / 会場 2024年1月31日(水)～2月2日(金) @東京ビッグサイト 東ホール

出展対象

マテリアルゾーン	機能性マテリアル/機能性樹脂・機能性添加剤/機能性インキ/機能性コーティング剤/機能性接着剤/高機能フィルム 他
複合材料ゾーン	軽量化樹脂素材 (熱可塑性樹脂・熱硬化性樹脂・CFRP・GFRP・複合材料) /コンポジット材料 (CNT・CNF・ガラス繊維・その他ファイバー) /複合化技術・装置 他
不織布・機能紙ゾーン	不織布/機能性繊維・繊維シート・複合材料/フィルター/機能紙/紙・特殊紙/パルプ・原料繊維・製紙原料/木質系材料 (セルロース・CNF・バイオマスプラスチック) /製紙用薬品 他
試作・受託ゾーン	受託加工ビジネス/試作請負/その他サービス

2展示会 合同企画：研究開発DXゾーン

出展対象：マテリアルズ・インフォマティクス (MI)、プロセス・インフォマティクス (PI)、DXプラットフォーム、AI、シミュレーション、DXコンサルティング等、**研究開発DXに寄与するソリューション**

同時開催



2020年から感染が急拡大した 新型コロナウイルスの拡大 は、世界中の研究開発拠点や工場に多大な影響を与えました。
サプライチェーンが寸断されたため、原材料や部品の調達ができず、研究や生産を停止する企業も見られる等、日本のものづくり業界を取り巻く環境は、ここ数年大きな変化を迎えました。

またさらに現在は、下記 **4つの課題** が顕在化しつつあり、製造業が今後も進化し、また生き残るためには、これらの課題と真摯に向き合い、対応策を講じる必要があります。

① 人手不足

製造業において特にその傾向が顕著 だと言われ、このまま人手不足の状況が続けば、労働環境の悪化、モチベーション低下、離職率増加により、さらなる人手不足に。

② 人件費の高騰

同様に 研究開発職をはじめとした人件費の高騰も大きな課題 と言われます。
労働人口が減少している現在、給与面や福利厚生等の面での好待遇が優秀な人材を獲得する要素に。

③ 技術(経験)継承問題

人海戦術に頼った材料開発・トライアンドエラーは人材不足により問題が生じやすく、また日本が誇る研究者が経験と勘でその可能性を追い求めることも、経験を継承できないと、技術や経験そのものが失われる可能性も。

④ 自動化・効率化の遅れ

近年 ものづくり業界のIT投資額の増加 や 中小企業におけるデジタル化の意識が大きく変化 しつつあるものの、手作業の多い日本のものづくり業界は、様々な要因から諸外国と比べて普及が遅れているのが実情。

業務効率化 (無駄の削減)

ナレッジマネジメントの構築

DX化

DX化で解決できる領域大

ものづくり業界にとって **研究開発DX化は大きな役割 を果たすソリューション**

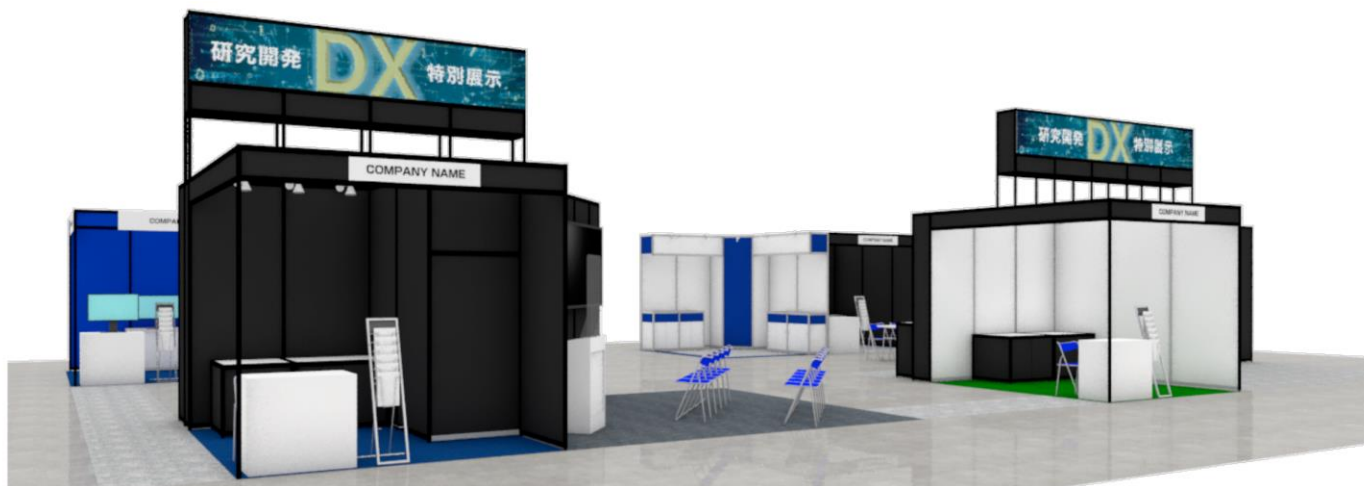
2022開催引き続きピックアップした **研究開発DX特別展示** では、
 マテリアルズ・インフォマティクス(MI)、プロセス・インフォマティクス(PI)、またシミュレーションソフトウェア等、
データドリブンな研究開発とその高度化を実現するDXソリューションを展開。

2022開催 (7社) を上回る **13社** の方々にご出展いただき、来場者に有益な情報をご紹介いただきました。



【実施内容】

- ・ MIをはじめとした 研究開発DX関連の製品・ソリューションを有する企業、団体によるブース出展 (リアル出展、オンライン出展)
- ・ 出展者によるプレゼンテーション (各15分間)

出展企業	小間番号
JSOL	2W-19-01
キャトルアイ・サイエンス	2W-19-02
MI-6	2W-19-03
ダッソー・システムズ	2W-19-04
物質・材料研究機構	2W-19-05
日本システム開発	2W-19-06
SCSK	2W-19-07
計算科学振興財団	2W-19-08
東京大学辻研究室 / プロダクト・イノベーション協会	2W-19-09
トヨタ自動車	2W-19-10
データ創出・活用型磁性材料研究拠点 (DXMag)	2W-19-11
CrowdChem	2W-19-12
日立製作所	オンライン



2017 - 特別シンポジウム：マテリアルズインフォマティクス

材料科学の未来	情報統合型物質・材料開発イニシアティブ (MI ²) とナノテック
	
<p>細野 秀雄 氏 東京工業大学 フロンティア材料研究所 教授、元素戦略研究センター長</p>	<p>伊藤 聡 氏 科学技術振興機構 産学連携展開部 イノベーションハブ構築 支援事業 プログラムマネージャー</p>

2018 - 特別シンポジウム：軽量化材料とマテリアルズ・インフォマティクス

AIで加速する物質・材料の研究開発～NIMS-MaDISの取り組み～	ナノ構造情報のフロンティア開拓ー材料科学の新展開	高次元材料情報統合型研究による材料開発の革新的加速	Artificial Intelligence Driving a Revolution in Materials Discovery	炭素繊維複合材料におけるナノテクノロジー	化学産業におけるマテリアルズ・インフォマティクス
					
<p>出村 雅彦 氏 物質・材料研究機構 統合型材料開発・ 情報基盤部門 副部門長</p>	<p>田中 功 氏 京都大学 工学研究科 材料工学専攻 教授</p>	<p>足立 吉隆 氏 名古屋大学 材料デザイン工学専攻 計算 材料設計講座 構造形態制御 工学研究室 教授</p>	<p>Douglas Ramsey 氏 Vice President Business Development Citrine Informatics</p>	<p>吉岡 健一 氏 東レ 複合材料研究所 所長</p>	<p>内 幸彦 氏 旭化成 基盤技術研究所 (兼 MI 推進部) プリンシパルエキスパート</p>

2019 - 特別シンポジウム：マテリアルズインフォマティクス：データ駆動型高分子科学の新展開

機械学習とシミュレーションの融合による高分子材料の高次構造予測	数学と材料科学	マテリアルズインフォマティクスの現状と展望：データ科学の視点から	ポリマー材料開発からみた“ポリマー・インフォマティクス”
			
<p>青柳 岳司 氏 国立研究法人産業技術総合研究所 機能材料コンピュータシミュレーション研究 センター 総括研究主幹</p>	<p>西浦 廉政 氏 東北大学材料科学高等研究所 特任教授</p>	<p>吉田 亮 氏 情報・システム研究機構 統計数理研究所 ものづくりデータ科学研究センター 教授 (センター長)</p>	<p>竹内 久雄 氏 三菱ケミカル株式会社 研究開発企画部 担当部長</p>

2020 - 特別シンポジウム：マテリアルズ・インフォマティクス 「できる」から「できた」へ

～室温超伝導はもはや夢ではない～	SiC 溶液成長における大口径化技術を開発	機械学習を用いた超狭帯域熱放射多層膜の開発	機械学習によるタイヤ用ゴム材料の開発
			
<p>高野 義彦 氏 物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクトニクス研究拠点 (MANA) MANA / ナノフロンティア超伝導材料グループ 主任研究者 / グループリーダー</p>	<p>宇治原 徹 氏 名古屋大学 未来材料・システム研究所 教授</p>	<p>櫻井 篤 氏 新潟大学 准教授</p>	<p>小石 正隆 氏 横浜ゴム株式会社 AI 研究室 エグゼクティブフェロー / 研究室長</p>

2021 - 特別シンポジウム：計測インフォマティクス～データ駆動型科学による計測技術の刷新


人工嗅覚に向けた嗅覚センサ MSS と機械学習の融合	計測実験の最適化と計測データ解析の自動化	EELS/XAFS インフォマティクス ～機械学習によるスペクトル解析の刷新～	計測インフォマティクスによる 解析高度化への期待と取り組み
 <p>吉川 元起 氏 (国研) 物質・材料研究機構 機能性材料研究拠点 センサ・アクチュエータ研究開発センター 嗅覚センサグループ グループリーダー</p>	 <p>小野 寛太 氏 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 准教授</p>	 <p>溝口 照康 氏 東京大学 生産技術研究所 教授</p>	 <p>今井 英人 氏 株式会社日産アーク 解析プラットフォーム開発部 テクニカルディレクター</p>

2022 - 特別シンポジウム：研究DX時代のマテリアルズ・インフォマティクス

機械学習とロボットが「自律的」に研究を進める時代に、人間の研究者はなにに注力すべきか？	MIとDX	日立が考える研究DX	マイクロフロー研究DXが導く合成化学
 <p>一杉 太郎 氏 東京工業大学 物質理工学院 応用化学系 教授 / 学長特別補佐 / 物質・情報卓越教育院 副教育院長</p>	 <p>庄司 哲也 氏 トヨタ自動車株式会社 先端材料技術部 チーフプロフェッショナル エンジニア</p>	 <p>森田 秀和 氏 株式会社日立製作所 公共システム事業部 デジタルソリューション 推進部 担当部長</p>	 <p>永木 愛一郎 氏 京都大学 大学院工学研究科合成・生物化学専攻 准教授</p>

2019 - 産業総合研究所 Clayteamセミナー：透明材料の機能化

クレイ / ポリマーの透明ナノコンポジットの特性を予測するためのマテリアルインフォマティクスを取り入れたマルチスケールモデリングプラットフォーム



Abhijit Chattopadhyay 氏
DASSAULT SYSTEMES Japan, BIOVIA Senior Solution Scientist

2020 - 材料設計シミュレーションセミナー

ものづくり課題解決の方法
～分散系材料を対象とした分散、混練、塗布、乾燥などの課題とその解決方法～



山口 由岐夫 氏
プロダクト・イノベーション協会 代表理事 東京大学 名誉教授

複合材料成形の分子シミュレーション



松崎 亮介 氏
日本複合材料学会 分子シミュレーション研究会 代表 東京理科大学 理工学部機械工学科 准教授

産業界におけるマテリアルズ・インフォマティクスの現状と展望



入江 満 氏
MI-6株式会社 執行役員

2021 - 材料設計シュミレーションセミナー

マテリアルズ・インフォマティクスの
動向と今後の展望



加藤 幸一郎 氏

九州大学
大学院工学研究院 応用化学部門
准教授

化学メーカーにおける実際の
マテリアルズインフォマティクスの取り組み事例のご紹介



右田 啓哉 氏

株式会社日本触媒
事業創出本部
データサイエンス&
インフォマティクス推進室
室長

産業界における
マテリアルズ・インフォマティクスの現状と展望



チャタジー アブジット 氏

ダッソー・システムズ株式会社
BIOVIA技術部
BIOVIA Industry Process Consultant
Senior Specialist

2022 - プロセス・インフォマティクスセミナー

プロセスインフォマティクス：
生産性向上を実現するデータ活用術



加納 学 氏

京都大学
情報学研究科システム科学専攻
教授

データ駆動型プロセスインフォマティクス
～機能性材料プロセス開発のハイスループット化を目指して～



長藤 圭介 氏

東京大学
大学院工学系研究科 機械工学専攻
准教授

データの有効活用とノウハウ継承をしませんか？
原料(成分)配合の設計支援システム「MDS S」のご紹介



古川 研二 氏

日本システム開発株式会社
ソリューション本部 製品企画部
マネージャー

2023 - 特別シンポジウム：データ駆動型ナノテクノロジー ～素材からデバイス、システムへ～

多結晶材料情報学を基盤とした
材料開発の新展開



宇佐美 徳隆 氏
名古屋大学
大学院工学研究科
教授

機械学習を用いた
アナログ集積回路の自動設計・合成



高井 伸和 氏
京都工芸繊維大学
教授

物理リザーバー・コンピューティングによる
省電力情報処理



山根 敏志 氏
IBM東京基礎研究所
リサーチ・スタッフ・メンバー

2023 - プロセスインフォマティクスの最前線 ～次世代の機能性材料の開発加速【新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)】

フロー合成法による重合反応精密制御に
向けたプロセスインフォマティクス



藤井 幹也 氏
奈良先端科学技術大学院大学
先端科学技術研究科・
データ駆動型
サイエンス創造センター
教授

SiC結晶製造技術の革新に向けた
プロセスインフォマティクス技術の研究



土田 秀一 氏
電力中央研究所
エネルギートランス
フォーメーション研究本部
材料科学研究部門
研究開発推進マネージャー・
副研究参事

マテリアルDXが拓くフラックス法結晶育成



手嶋 勝弥 氏
信州大学
先鋭材料研究所
所長・教授

2023 - プロセス・インフォマティクスセミナー

産業界における
マテリアルズ・インフォマティクスの現状と展望



加納 学 氏
京都大学
情報学研究科
システム科学専攻
教授

2023 - 死の谷を越える生産技術革命～MIとPIの一体化による高速実装～

日本のマテリアル産業を変える！
～データ駆動型開発によるマテリアル分野
スタートアップ創出のエコシステム構築の挑戦～



木場 祥介 氏
ユニバーサル
マテリアルズ
インキュベーター株式会社
代表取締役パートナー

データ駆動によるタンパク質素材開発



坂田 一樹 氏
Spiber 株式会社
執行役員
マテリアル部門長

材料革新への挑戦：
MI×PI×DX@KYOCERA



仲川 彰一 氏
京セラ株式会社
執行役員 研究開発本部長
兼
デバイス研究開発統括部長

プロセスインフォマティクス
～機能性材料プロセス開発の
ハイスループット化を目指して～



長藤 圭介 氏
東京大学大学院
工学系研究科
准教授

① 出展対象の拡大

➡ 出展対象に **DXプラットフォーム、DX支援・コンサルティング** を追加：より各社の **研究開発DXを浸透させる** ためのソリューションを展開

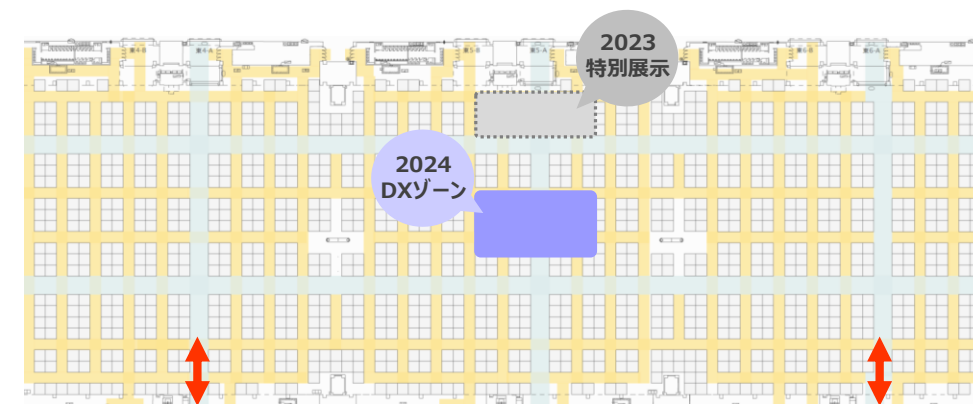
② 特別展示から 2展示会の常設ゾーンへ

➡ 主催者企画としてピックアップする特別展示から、**常に考えるべきソリューションとして 研究開発DXゾーン** を設置

➡ 常設ゾーン化により、その設定位置も変化：**訴求効果をさらに追及**

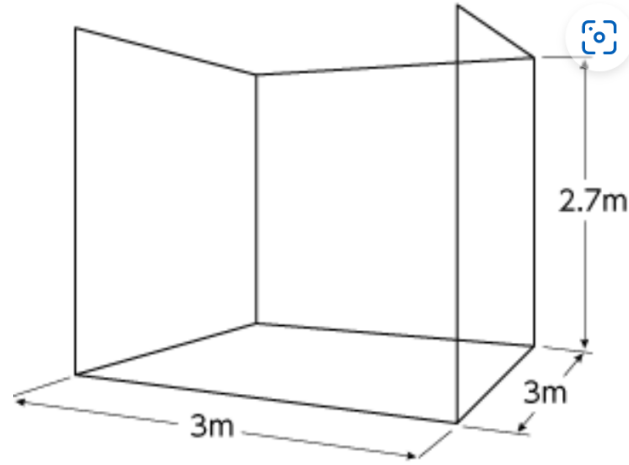
③ ゾーン化により費用感も変化

➡ パッケージとしての提供から **通常価格に変更**：
一律提供から **より柔軟な選択肢をお持ちいただける** 形でご案内



※ 上記レイアウト、またレイアウト上のゾーン位置は イメージ となります。
実際のレイアウトによって配置も調整いたしますので、ご理解・ご了承いただけますよう、お願いいたします。

● ブース出展



出展スペース1小間 = **9m²** (開口3m × 奥行3m)

- ※ 隣接する小間がある場合は、事務局側で仕切りパネル (高さ2.7m) を設置します。ただし、角小間の場合、通路側のパネルはつきません。
- ※ 装飾費用は含まれておりません。
- ※ 電気・通信回線等の工事費および使用料は付帯しておりません。

企業

340,000円 (税別) /小間(9m²) ※ **374,000**円 (税込)

独法・公的機関・アカデミア

180,000円 (税別) /小間(9m²) ※ **198,000**円 (税込)

※ 別途 パッケージブース(右記参考) のご用意もごさいます。

● 出展者プレゼンテーション 等

出展者プレゼンテーション

● メインシアタープレゼンテーション

会場 オープン形式 シアター 120席 (予定)
料金 1セッション 45分 **¥275,000** (税込)

● シーズ&ニーズセミナー

会場 オープン形式 シアター 100席 (予定)
料金 1セッション 45分 **¥165,000** (税込)
1セッション 30分 **¥110,000** (税込)

出展者サポートプログラム

- 出展者特集記事 料金 **¥330,000** (税込)
- 公式ホームページ ログ掲載 料金 **¥440,000** (税込)
- 主催者発行メルマガでのテキスト広告 料金 **¥55,000** (税込) ~
- 会場内プロモーション (サイン広告 / パナー掲示 / デジタルサイネージ広告 等) 料金 **¥110,000** (税込) ~

● 参考価格



展示台	W900×D700×H750	2台
受付カウンター	W900×D450×H800	1台
パラペット	H300	3m
社名版	ゴシック系打ち文字	W1200×H200 1枚
パイプイス		2脚
カタログスタンド	(A4縦型 12段)	1台
貴名受		1ヶ
スポットライト	100W	3灯
床面カーペット	カーペット留込み	9m ²
幹線工事	電気使用料込み*	1kW
コンセント	2口	1ヶ
ゴミ箱		1ヶ

※照明の消費電力量(300W)も含む

1小間

パッケージプラン

¥143,000 (税込) ~

※2小間・3小間用アップグレードプランもごさいます。
※申込先は、主催者指定施工会社となります。

① **オンライン申込フォーム**にアクセスしてください。
<https://application.jcdebizmatch.jp/jp/nanotech2024/nanotech>
 あるいは
<https://application.jcdebizmatch.jp/jp/nanotech2024/converttech>

② 「出展ゾーン」項目にて「**研究開発DXゾーン**」
 を選択の上、必要事項を記入ください。

③ 「お申込み内容および出展料金」項目にて
 「出展 (企業エリア)」あるいは「出展 (独法・公的～～)」欄に
 ご出展いただく小間数をご記入ください。



出展 (企業)	出展 (独法・公的機関・海外パビリオン・学校各研究室)
通常料金 (1~7小間)	
¥340,000 × 2	¥180,000 × 1
小間 = ¥ 680,000	小間 = ¥ 180,000

※ ご出展小間数記載メージ
 ※ フォーム上に記載している金額は 税別金額 となります

1 申込締切日: 2023年9月29日(金)

※但し、締切前でも予定の小間数になり次第締切しますので、お早めにお申込みください。

2 出展料のお支払い: 出展本申込後、請求書を発行いたします。

請求書記載の指定日までにご出展料を指定口座へお振込みください。

3 出展申込の取消: 出展本申込後の取消は原則として出来ません。但し、事務局でやむを得ないと判断した場合は取消を認め、出展規約の基準で解約料をお支払いいただきます。

● **小間位置につきましては、小間数順 かつ お申込み先着順で調整～決定させていただく予定です。**



● ご出展料の請求、展示会へのご出展準備スケジュールについては、nano tech 2024 / 新機能性材料展2024 の内容に準拠し、事務局からご連絡をいたします。

名称 nano tech 2023
第22回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議

日時 展示会開催（東京ビッグサイト）：
2023年2月1日（水）～ 3日（金）10:00～17:00
オンライン展示期間：
2022年12月1日（木）～ 2023年2月28日（火）

会場 東京ビッグサイト東1・2ホール&会議棟

名称 新機能性材料展 2023
※コンバーティングテクノロジー総合展内

日時 展示会開催（東京ビッグサイト）：
2023年2月1日（水）～ 3日（金）10:00～17:00
オンライン展示期間：
2022年12月1日（木）～ 2023年2月28日（火）




会場 東京ビッグサイト東2ホール&会議棟

来場者数（同時開催展合計）

40,170 名

※オンライン参加含む

東京ビッグサイト来場者

開催日	天候	来場者数
2/1（水）		8,653 名
2/2（木）		10,750 名
2/3（金）		11,734 名
3日間合計		31,137 名

出展者数（nano tech）

370 団体

国内：291 / 海外：79

ブース出展者

366 国内：287
海外：79

小間数

402 国内：347
海外：55

ブース出展者

256

小間数

391

出展者数（コンバーティングテクノロジー総合展）

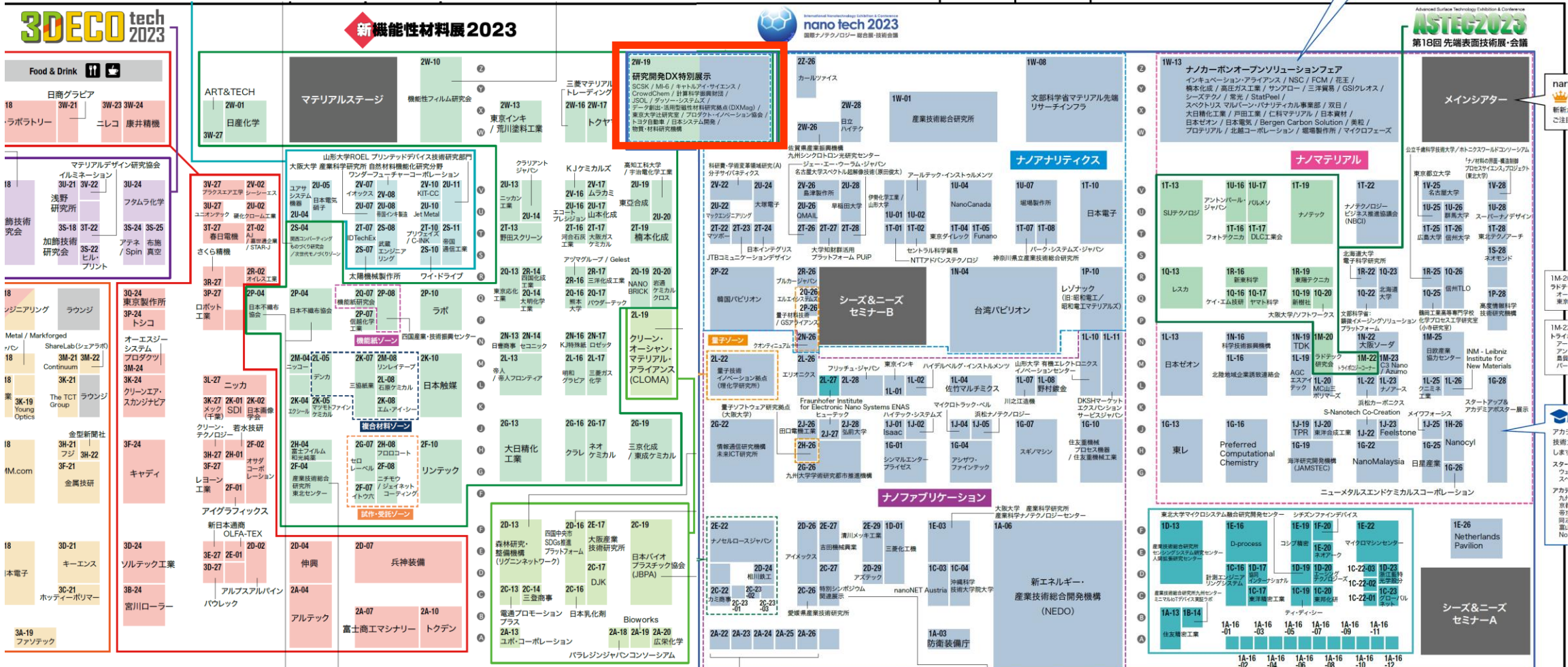
256 団体

東3ホール

東2ホール

東1ホール

第4回ナノカーボンオープンソリューションフェア
ナノカーボンのあらゆる用途開発のためのオープンソリューション。
ナノカーボンの実用化が更に加速されることを目指します



The main exhibition floor plan is divided into several sections:

- 3DECO tech 2023** (Food & Drink): Includes booths for 日商グラビア, ラボラトリー, ニレコ, 康井精機, etc.
- ART&TECH**: Includes booths for 日産化学, 日産工業, etc.
- 新材料ステージ**: Includes booths for 山形大学 ROEL, 大阪大学, etc.
- 機能性フィルム研究会**: Includes booths for 三菱マテリアル, etc.
- ナノアナリティクス**: Includes booths for 大塚電子, 島津製作所, etc.
- ナノマテリアル**: Includes booths for ナノテクログ, ナノテック, etc.
- ナノアプリケーション**: Includes booths for ナノセルロース, etc.
- ナノファブ리케이션**: Includes booths for ナノエレクトロニクス, etc.
- ASTEG 2023** (第18回先端表面技術展・会議): Includes the Main Stage (メインシアター) and various technical sessions.

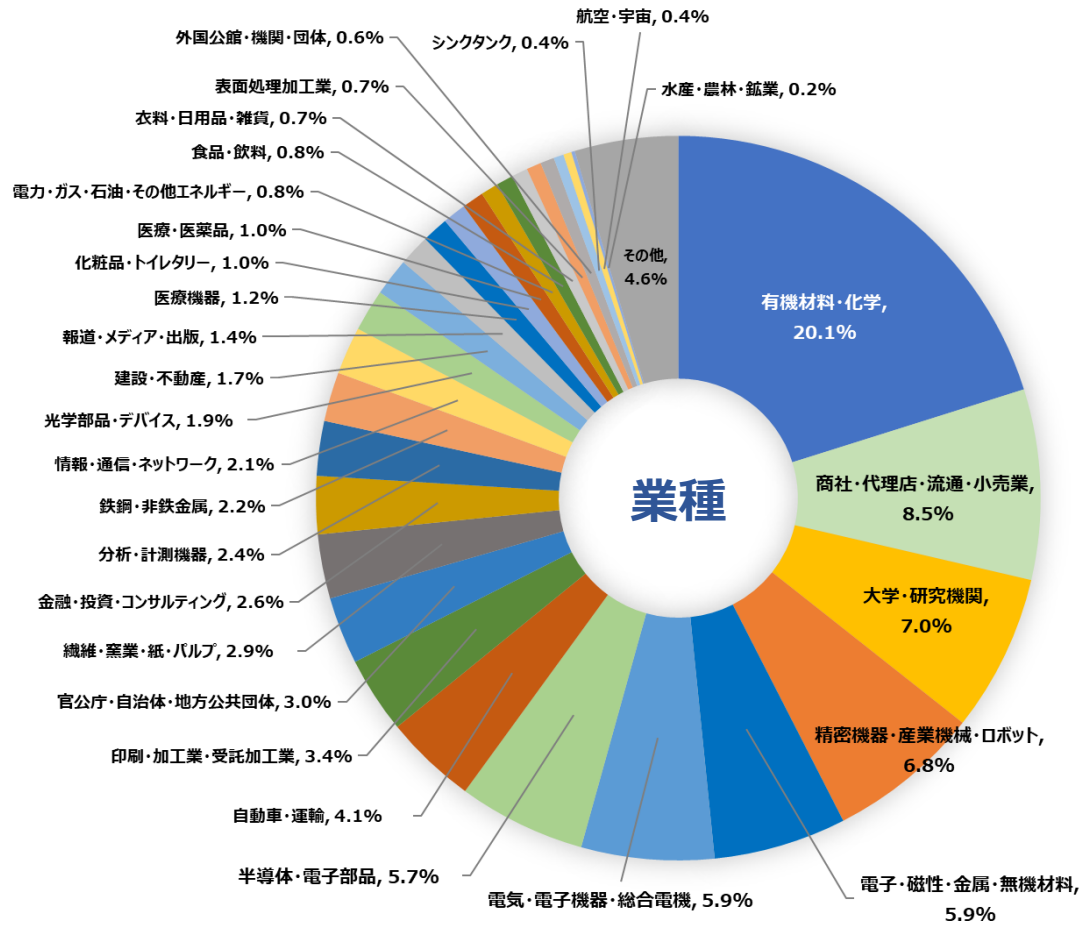


出入口 (Entrances and Exits) are marked with red arrows and icons of people entering and exiting.

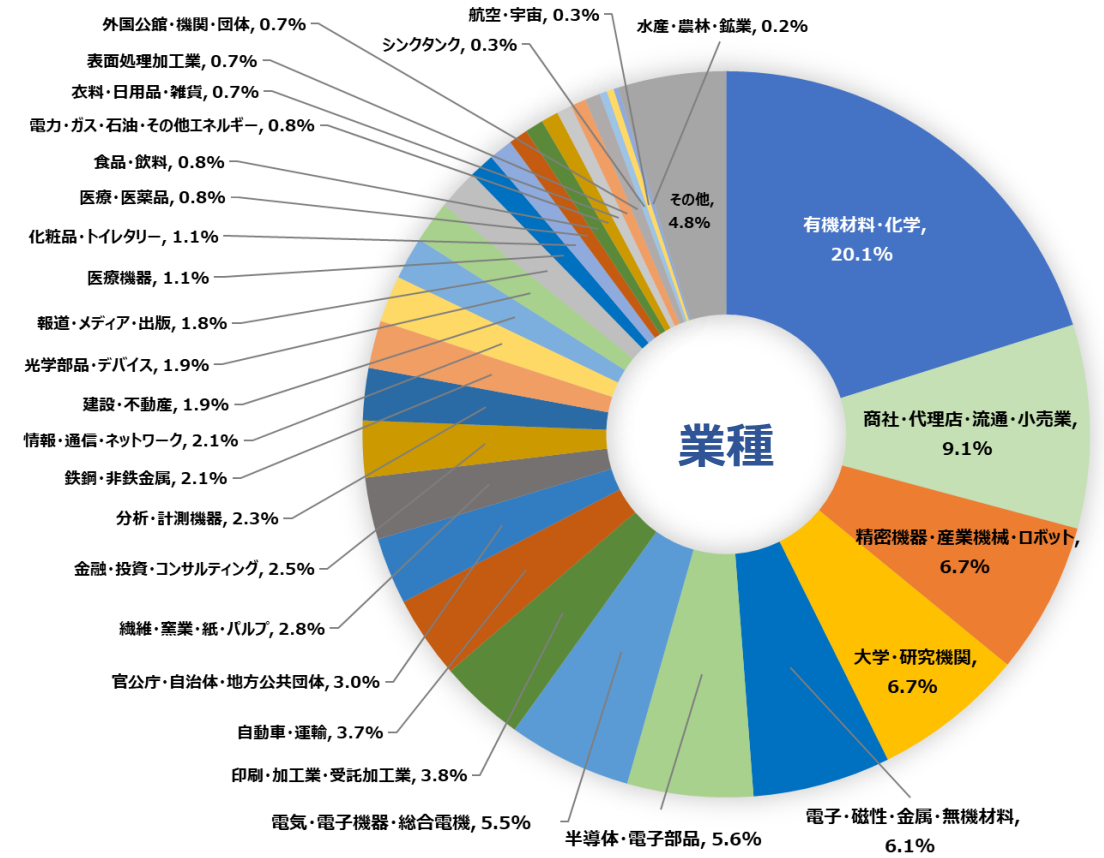
特別シンポジウム関連展示 (Special Symposium Related Exhibitions) are listed at the bottom right:

- 1A-16-01 花王
- 1A-16-02 和興研究所
- 1A-16-03 ナンシュー
- 1A-16-04 VITO/アイテック/ロジック
- 1A-16-05 京セラ
- 1A-16-06 京セラ

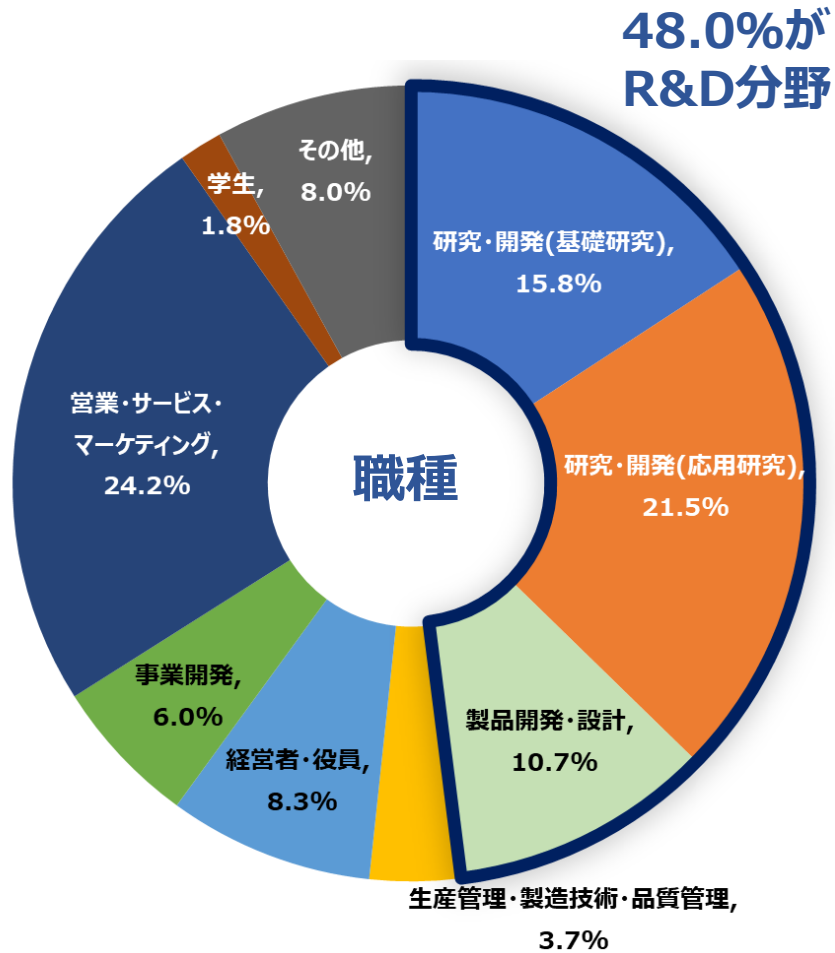
参加者全体



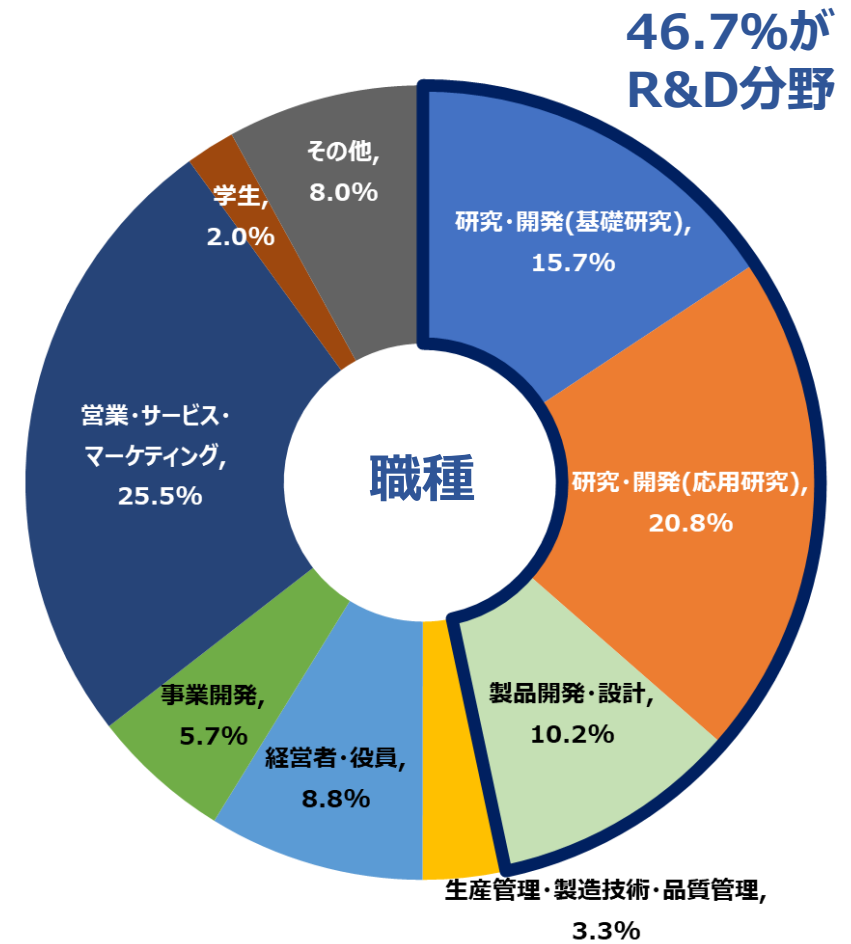
ビッグサイト来場者



参加者全体



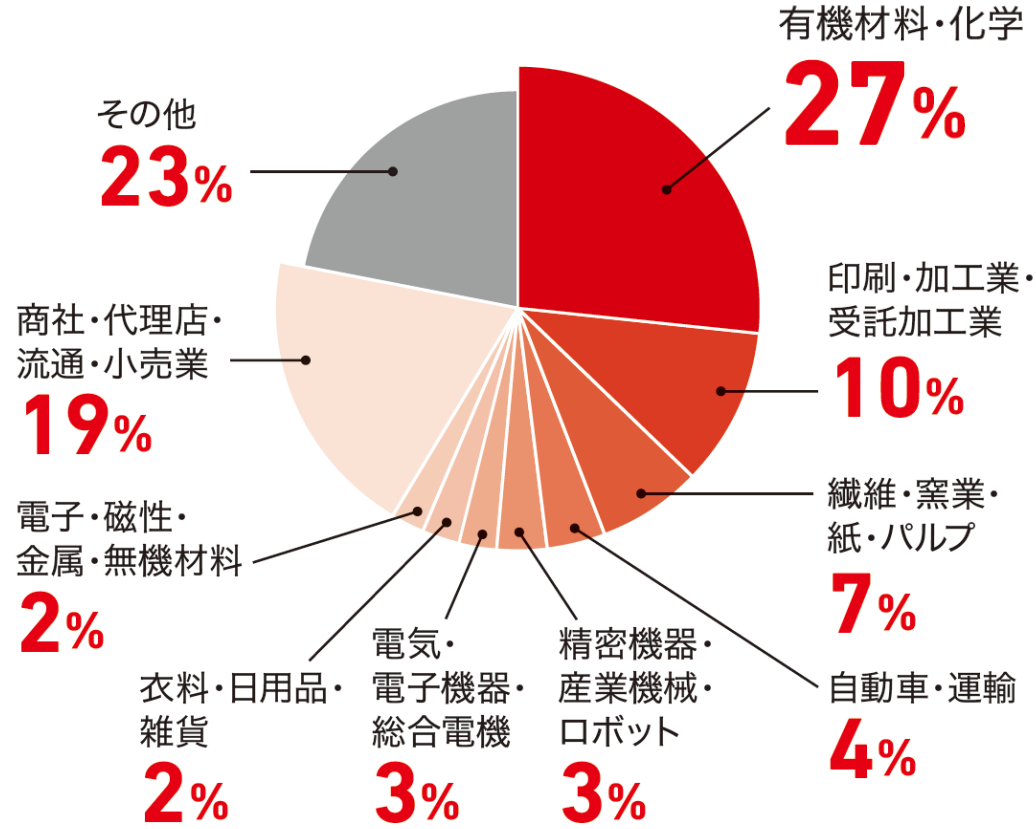
ビッグサイト来場者



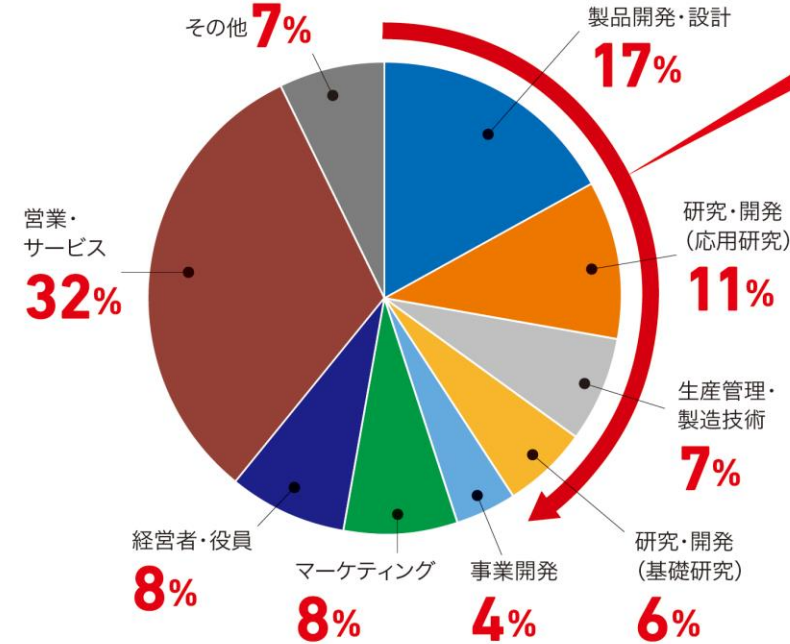
	キーワード名	合計		キーワード名	合計		キーワード名	合計		キーワード名	合計
1	カーボンナノチューブ	958	26	中空ナノシリカ	144	51	3Dプリンター	65	76	リグニン	47
2	セルロースナノファイバー	868	27	セラミックス	118	52	SEM	65	77	マイクロ	47
3	二次電池	851	28	印刷	117	53	銅	63	78	研磨	47
4	熱電・蓄熱・放熱・熱伝導	626	29	触媒	115	54	DX	60	79	電極	47
5	ナノ粒子	564	30	撥水	112	55	繊維	60	80	生体	47
6	グラフェン	538	31	水素	102	56	親水	60	81	吸着	46
7	粉碎・分散・攪拌・乳化・分級	528	32	ナノインプリント	97	57	表面	59	82	5G	45
8	燃料電池・太陽電池	414	33	リサイクル	96	58	SiC	58	83	真空	44
9	コーティング	381	34	磁性材料	92	59	プラズマ	57	84	コーター	44
10	カーボン	281	35	表面処理	85	60	自動車	57	85	プラスチック	44
11	インクジェット	259	36	ゴム	84	61	フッ素	57	86	生分解	43
12	センサー	257	37	光触媒	83	62	金属	56	87	発電	42
13	マテリアルズ・インフォマティクス (MI)	255	38	CO2	82	63	化粧品	56	88	圧電	42
14	量子	253	39	レーザー	81	64	ガラス	56	89	マイクロ波	42
15	半導体	217	40	フィルター	80	65	有機	56	90	LED	42
16	ナノファイバー	205	41	インク	80	66	塗料	56	91	粘度	41
17	バイオ	201	42	抗菌	79	67	CMPスラリー	56	92	プロセス	41
18	材料・マテリアル	200	43	電磁波	79	68	炭素	52	93	フレキシブル	41
19	樹脂	176	44	薄膜	78	69	MOF	52	94	ダイヤモンド	41
20	接着・接合	166	45	ALD	73	70	ナノテック	52	95	分散剤	41
21	分析	165	46	医療	70	71	モノマー	52	96	光	41
22	導電	159	47	MEMS	69	72	計測	50	97	超音波	40
23	バイオマス	152	48	3D	69	73	不織布	50	98	AI	40
24	フィルム	150	49	低誘電	69	74	AR	49	99	CVD	40
25	めっき	150	50	バリア	66	75	カーボンニュートラル	48	100	ゲル	38

業種

※ 新機能性材料展のみ



職種

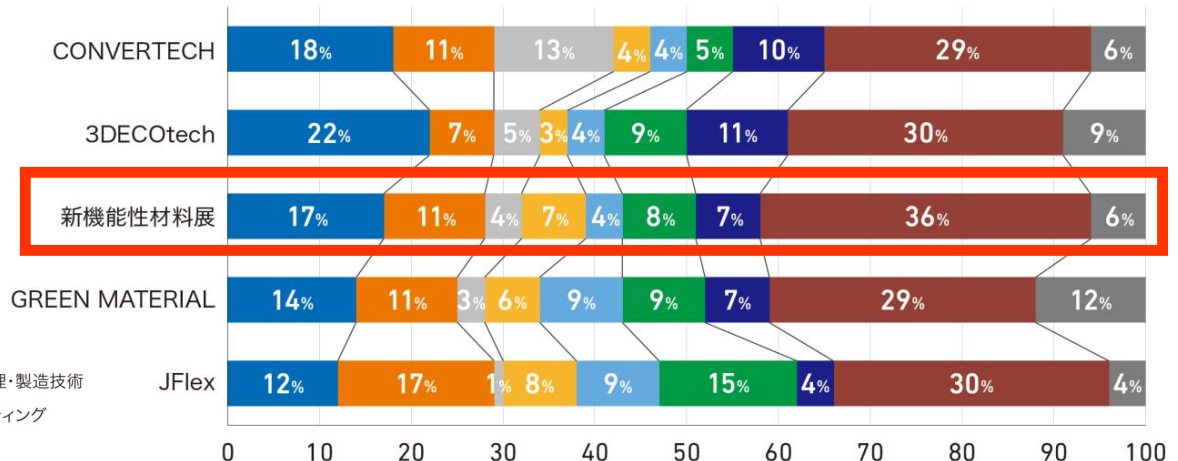


R&D・製品開発・製造 41%

※5展統計 新機能性材料展を含む総合展合計値

「製品開発・設計」「研究・開発(応用研究)」が多く、R&D・製品開発・製造部門の来場者は全体の41%を占める。展示会別に見ると、CONVERTECHの「生産管理・製造技術」、3DECOtechの「製品開発・設計」、GREEN MATERIALの「研究・開発(応用研究)」「事業開発」、JFlexの「研究・開発(応用研究)」「事業開発」「マーケティング」の割合が高くなっており、新機能性材料展はいずれの部門からもバランス良く来場している。

■製品開発・設計 ■研究・開発(応用研究) ■生産管理・製造技術
■研究・開発(基礎研究) ■事業開発 ■マーケティング
■経営者・役員 ■営業・サービス ■その他





- **nano tech 実行委員会事務局**

TEL : 03-5657-0760 FAX : 03-5657-0645 e-mail : nanotech@jtbc.com

- **新機能性材料展事務局**

TEL : 03-5657-0761 FAX : 03-5657-0645 e-mail : kinousei@jtbc.com



株式会社 JTBCコミュニケーションデザイン

〒105-8335 東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング